

回神さまが覚える、民が覚える
Gen 8 : 1 神はノアと、箱舟の中にいたすべての生き物と、すべての家畜とを心にめづられた。・・・
Gen 9 : 16 にじが雲の中に現れるとき、あなたはこれを見て、神が地上にあるすべての肉なるあらゆる生き物との間に立てた永遠の契約を思いおこすであろう。
Deu 5 : 15 あなたはかつてエジプトの地で奴隷であったが、あなたの神、主が強い手と、伸ばした腕とをもって、そこからあなたを導き出されたことを覚えておきなさい。
Deu 8 : 2 あなたの神、主がその四十年の間、荒野であなたを導かれたそのすべての道を覚えておきなさい。

嘆き：患みが無い(約束、楽しみ)

1 私は神にむかい声をあげて叫ぶ。
私が神にむかつて声をあげれば、
神は私に聞かれる。
2 私は悩みの日に主をたすね求め、
夜はわが手を伸べてたゆむことなく、
わが魂は慰められるのを拒む。
3 私は神を思うとき、嘆き悲しむ、
深く思うとき、わが魂は衰える。(セラ)
4 あなたは私のまぶたをささえて閉じさせず、
私は物言うこともできないほどに悩む。
5 私は昔の日の思い、
いにしえの年を思う。
6 私は夜、わが心と親しく語り、
深く思うてわが魂を探り、言う、
7 「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。
ふたたび、めぐみを施されないであろうか。
8 そのいつくしみはとこしえに絶え、
その約束は世々ながくすたれるであろうか。
9 神は恵みを施すことを忘れ、怒りをもって
そのあわれみを閉じられたであろうか」と。
10 その時私は言う、「私の悲しみは
いと高き者の右の手が変わったことである」と。
11 私は主のみわぎを思い起す。
私は、いにしえからの
あなたのくすしみわぎを思いいだす。
12 私は、あなたのすべてのみわぎを思い、
あなたの力あるみわぎを深く思う。
13 神よ、あなたの道は聖である。
われらの神のように大いなる神はだれか。
14 あなたは、くすしみわぎを行われる神である。
あなたは、もろもろの民の間に、その大能をあらわし、

回ミデヤン人と戦っているときにギデオンが言う
Jdg 6 : 13 ギデオンは言った、「ああ、君よ、主がわたしたちと共におられるならば、どうしてこれらの事がわたしたちに臨んだのでしょうか。わたしたちの先祖が『主はあれあれをエジプトから導きよられたではないか』と、わたしたちに告げたそのすべての不思議なみわざはどこにありますか。今、主はわたしたちを捨てて、ミデヤンびとの手にわたされました。」

回右の手を引込める
Psa 74 : 11 なぜあなたは手を引かれるのですか。なぜあなたは右の手をふところに入れておかれるのですか。

回奴隷の家から救い出す、私は主である
Exd 6 : 2 神はモーセに言われた、「あなたは主である。・・・5 あなたはまた、エジプトびとが奴隷としているイスラエルの人々のうめきを聞いて、あたしの契約を思い出した。

回過越祭(連れ出された日を覚えて)
Exd 13 : 3 モーセは民に言った、「あなたがたは、エジプトから、奴隷の家から出るこの日を覚えておきなさい。主が強い手をもって、あなたがたをここから導き出されるからである。

回ダビデが契約の箱を天幕に
1Ch 16 : 9 主にむかって歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしみあざを語れ。
: 12 ・・・主のなされたくすしみあざと、その奇跡と、そのみ口のさばきとを心にめよ。
: 15 主はとこしえにその契約をみこころにとめられる。これはよろよりに命じられたみ言葉であって、

みあざを覚える(主の道)

みあざ中のみあざ(海を分ける)
15 その腕をもつておのれの民をあがめない、
ヤコブとヨセフの子らをあがなわれた。(セラ)
16 神よ、大水はあなたを見た。
17 大水はあなたを見ておのき、淵もまた震えた。
18 雲は水を注いだし、空は雷をどろろかし、
あなたの矢は四方にきらめいた。
19 あなたの雷のどろろきは、つむじ風の中にあり、
あなたのいなずまは世を照し、地は震い動いた。
20 あなたの道は大水の中にあり、
あなたの足跡はたすねえなかった。
あなたたは、その民をモーセとアロンの手によって羊の群れのように導かれた。

救いのみあざ
14 われらの神のように大いなる神はだれか。
13 神よ、あなたの道は聖である。
われらの神のように大いなる神はだれか。
12 私は、あなたのすべてのみわぎを思い、
あなたの力あるみわぎを深く思う。
11 私は主のみわぎを思い起す。
私は、いにしえからの
あなたのくすしみわぎを思いいだす。
10 その時私は言う、「私の悲しみは
いと高き者の右の手が変わったことである」と。
9 神は恵みを施すことを忘れ、怒りをもって
そのあわれみを閉じられたであろうか」と。
8 そのいつくしみはとこしえに絶え、
その約束は世々ながくすたれるであろうか。
7 「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。
ふたたび、めぐみを施されないであろうか。
6 私は夜、わが心と親しく語り、
深く思うてわが魂を探り、言う、
5 「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。
ふたたび、めぐみを施されないであろうか。
4 あなたは私のまぶたをささえて閉じさせず、
私は物言うこともできないほどに悩む。
3 私は昔の日の思い、
いにしえの年を思う。
2 私は悩みの日に主をたすね求め、
夜はわが手を伸べてたゆむことなく、
わが魂は慰められるのを拒む。
1 私は神にむかい声をあげて叫ぶ。
私が神にむかつて声をあげれば、
神は私に聞かれる。

回新約時代のしるしと不思議
Act 2 : 22 ・・・ナザレ人イエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるあざと奇跡としるしにより、神からつかあされた者であることを、あなたがたに示されたかたであった。(五旬節のペテロの証言)
: 43 みんなの者におかれの念が生じ、多くの奇跡としるしどが、使徒たちによって、次々に行われた。
Act 6 : 8 さて、ステパノは患みと力に満ちて、民衆の中で、めざましい奇跡としるしを行っていた。
Act 7 : 36 この人が、人々を導き出して、エジプトの地においても、紅海においても、また四十年のあいだ荒野においても、奇跡としるしを行っていたのである。
Act 14 : 3 それにもかからず、ふたり(パウロとバルナバ)は長い期間をそこで過ごして、大胆に主のことを語った。主は、彼らの手によってしるしと奇跡とを行わせ、そのめぐみの言葉をあがしされた。
Mtt 24 : 24 にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。

78

1 わが民よ、わが教を聞き、
わが口の言葉に耳を傾けよ。
2 私は口を開いて、たとえを語り、
いにしえからの、などを語ろう。
3 これはわれらが先に聞いて知ったこと、
またわれらの先祖たちが
われらに語り伝えたことである。
4 われらはこれを子孫に隠さず、主の光荣あるみわざと、
その力と、主のなされたくすしみわぎとを
きたるべき代に告げるであろう。
5 主はあかしをヤコブのうちにたて、
おきてをイスラエルのうちに定めて、
その子孫に教うべきことを
われらの先祖たちに命じられた。
6 これは次の代に生れる子孫がこれを知り、
みずから起って、そのまた子孫にこれを伝え、
7 彼らをして神に望みをおき、
神のみわぎを忘れず、その戒めを守らせるためである。
8 またその先祖たちのようにかたくなで、
そむく者のやからとなり、その心が定まりなく、
その魂が神に忠実でないやからと
ならないためである。

59 神は聞いて大いに怒り、
イスラエルを全くしりぞけられた。
60 神は人々のなかに設けた幕屋なる
シロのすまいを捨て、
61 その力をとりことならせ、
その栄光をあだの手にわたされた。
62 神はその民を苦しむにわたし、
その嗣業にむかつて大いなる怒りをもたらされた。
63 火は彼らの若者たちを焼きつくし、
彼らのおとめたちは婚姻の歌を失い、
64 彼らの祭司たちはつるぎによって倒れ、
彼らのやもめたちは嘆き悲しむことさえしなかった。
65 そのとき主は眠った者のさめたように、
勇士が酒によって叫ぶように目をさまして、
66 そのあだを撃ち退け、
とこしえの恥を彼らに負わせられた。
67 神はヨセフの天幕をしりぞけ、
エフライムの部族を選ばず、
68 エダの部族を選び、
神の愛するシオンの山を選ばれた。
69 神はその聖所を高い天のように建て、
とこしえに基を定められた地のように建てられた。
70 神はそのしもべダビデを選んで、
羊のおりから取り、
71 乳を与える雌羊の番をするところからつれて来て、
その民ヤコブ、その嗣業イスラエルの牧者とされた。
72 こうして彼は直き心をもって彼らを救し、
巧みな手をもって彼らを導いた。

回良い牧者、まことのぶどうの木
Jhn 10 : 14 あたしはよい羊飼であって、あたしの羊を知り、あたしの羊はまた、あたしを知っている。
Jhn 15 : 1 あたしはまことのぶどうの木、あたしの父は農夫である。

回私に叫べ、そうすれば帰る(都の再建)
Zch 1 : 3 それゆえ、万軍の主はこう仰せられると、彼らに告げよ。万軍の主は仰せられる、あたしに叫べ、そうすれば、あたしもあなたがたに帰ると、万軍の主は仰せられる。
Zch 1 : 16 それゆえ、主はこう仰せられます、あたしはあれれみをもってエルサレムに帰る。あたしの家はその中に建てられ、測りな家はエルサレムに張られると、万軍の主は仰せられます。

父は農夫です(右の手で強くする)

良い牧者です(敵から守る)

牧者と羊たち(民となり神となる)

牧場(聖所・民の住まい)

右の手の救い
18 そうすれば、われらはあなたを
離れ退くことはありません。
われらを生かしてください。
われらはあなたののみ名を呼びます。
19 万軍の神、主よ、われらをもとに返し、
み顔の光を照してください。
そうすればわれらは救えるでしょう。

ぶどうの木が荒らされている
14 万軍の神よ、再び天から見おろして、
このぶどうの木をかえりみてください。
15 あなたの右の手の植えられた幹と、
みずからのために強くされた枝とを
かえりみてください。
16 彼らは火をもってこれを焼き、
これを切り倒しました。
彼らをも顔のとがめによって滅ぼしてください。
17 しかしあなたの手をその右の手の人の上に置き、
みずからのために強くされた人の子の上に
おいてください。

民が囁かれている
8 あなたは、ぶどうの木をエジプトから携え出し、
もろもろの国民を追い出して、これを植えられました。
9 あなたはこれがために地を開かれたので、
深く根ざして、国にはびこりました。
10 山々はその影でおおわれ、
神の香柏はその枝でおおわれました。
11 これはその枝を海にまでおのべ、
その若枝を大川にまでおのべました。
12 あなたは何ゆえ、そのかききくずして
道ゆくすべての人にその実を
摘み取らせられるのですか。
13 林のいのししはこれを荒し、
野のすべての獣はこれを食べます。
14 万軍の神よ、再び天から見おろして、
このぶどうの木をかえりみてください。
15 あなたの右の手の植えられた幹と、
みずからのために強くされた枝とを
かえりみてください。
16 彼らは火をもってこれを焼き、
これを切り倒しました。
彼らをも顔のとがめによって滅ぼしてください。
17 しかしあなたの手をその右の手の人の上に置き、
みずからのために強くされた人の子の上に
おいてください。

御力による救い
1 イスラエルの牧者よ、
羊の群れのようにヨセフを導かれる者よ、
耳を傾けてください。
ケルビムの上に座せられる者よ、
光を放ってください。
2 エフライム、ベニヤミン、マナセの前に
あなたの力を振り起し、
来て、われらをお救いください。
3 神よ、われらをもとに返し、
み顔の光を照してください。
4 万軍の神、主よ、
そうすればわれらは救えるでしょう。
いつまで、その民の祈にむかつて
お怒りになるのですか。
5 あなたは涙のパンを彼らに食わせ、
多くの涙を彼らに飲ませられました。
6 あなたは敵はわが隣り人のあざけりとし、
われらの敵はわがいとあざわらいました。
7 万軍の神よ、われらをもとに返し、
われらの救われるため、み顔の光を照してください。

80

血とそしりに復讐
11 捕われ人の嘆きを
あなれたのみに聞いたらせ、
あなれたの大いなる力により、
死に定められた者を守りながらえさせてください。
12 主よ、われらの隣り人があなたをそしったそしりを
七倍にして彼らのふところに報い返してください。
13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧の羊は、
とこしえにあなたに感謝し、
世々あなたをほめたたえるでしょう。

あわれむ、赦す
9 われらの救の神よ、
み名の栄光のためにわれらを助け、
み名のためにわれらを救い、
われらの罪をおゆるしくください。
10 どうして異邦人は言うのでしょうか、
「彼らの神はどこにいるのか」と。
あなたのしもべらの流された血の報いを
われらのまのあたりになして、
異邦人に知らせてください。
11 捕われ人の嘆きを
あなれたのみに聞いたらせ、
あなれたの大いなる力により、
死に定められた者を守りながらえさせてください。
12 主よ、われらの隣り人があなたをそしったそしりを
七倍にして彼らのふところに報い返してください。
13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧の羊は、
とこしえにあなたに感謝し、
世々あなたをほめたたえるでしょう。

怒るのか
5 主よ、いつまでなのですか。
とこしえにお怒りになられるのですか。
あなたのねたみは火のように燃えるのですか。
6 どうか、あなたを知らない異邦人と、
あなたの名を呼ばない国々の上に
あなたの怒りを注いでください。
7 彼らはヤコブを滅ぼし、
そのすみかを荒したからです。
8 われらの先祖たちの不義をみこころにとめられず、
あわれみをもって、すみやかにわれらを
迎えてください。
われらは、はなはだしく低くされたからです。
9 われらの救の神よ、
み名の栄光のためにわれらを助け、
み名のためにわれらを救い、
われらの罪をおゆるしくください。
10 どうして異邦人は言うのでしょうか、
「彼らの神はどこにいるのか」と。
あなたのしもべらの流された血の報いを
われらのまのあたりになして、
異邦人に知らせてください。
11 捕われ人の嘆きを
あなれたのみに聞いたらせ、
あなれたの大いなる力により、
死に定められた者を守りながらえさせてください。
12 主よ、われらの隣り人があなたをそしったそしりを
七倍にして彼らのふところに報い返してください。
13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧の羊は、
とこしえにあなたに感謝し、
世々あなたをほめたたえるでしょう。

血とそしりを受けている
1 神よ、もろもろの異邦人はあなたの嗣業の地を侵し、
あなたの聖なる宮をけがし、
エルサレムを荒塚としました。
2 彼らはあなたのしもべのしかばねを
空の鳥に与えてえさとし、
あなたの聖徒の肉を地の獣に与え、
3 その血をエルサレムのまわりに水のように流し、
4 われらは隣り人にそしられ、
まわりの人々に侮られ、あざげられる者となりました。

回ケルビムの上に座す万軍の主の契約の箱、御力の箱
1Sm 4 : 4 そこで民は人をシロにつかあし、ケルビムの上に座しておられる万軍の主の契約の箱を、そこから携えて・・・
2Sm 6 : 2 ところでダビデは立て、・・・この箱はケルビムの上に座しておられる万軍の主の名をもって呼ばれている。
2Ch 6 : 41 主なる神よ、今あなたと、あなたの力の箱が立て、あなたの安息所にはいってください。・・・

回御顔を向けて祝福してください
Num 6 : 23 「アロンとその子たちに言いなさい、『あなたがたはイスラエルの人々を祝福してこのように言わなければなりません。』
: 24 「願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。：25 願わくは主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるように。：26 願わくは主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜るようになす。』」

回御顔を向けて祈りを聞く
2Ch 6 : 20 どうぞ、あなたの目を辱め夜もこの家に、すなわち、あなたの名をそこに置くと言われた所に向かってお聞きください。どうぞ、しもべがこの所に向かってささげる祈をお聞きください。

回民を攻撃した国々に復讐する
Jer 50 : 28 聞けよ、バビロンの地から逃げ、のがれてきた者の声がする。あれあれの神、主の報復、その宮の報復の事をシオンに告げ示す。
Ezk 25 : 17 あたしは怒りに満ちた懲罰をもって、大いなる復讐を彼らになす。あなたがたが彼らにあなたを返す時、彼らはあなたが主であることを知るようになる。』
Rev 19 : 2 そのさばきは、真実で正しい。神は、義理で地を汚した大淫婦をさばき、神の僕たちの血の報復を彼女になさったからである。』

回神の羊たちが主の大庭に入る
Psa 100 : 3 主こそ神であることを知れ。あれらを造られたものは主であって、あれらは主のものである。あれらはその民、その牧の羊である。：4 感謝しつつ、その門に入り、ほめたたえつつ、その大庭に入れ。主に感謝し、そのみ名をほめまつれ。

回バビロン補因のダニエルの祈り
Dan 9 : 2 ・・・あれダニエルは主が預言者エレミヤに臨んで告げられた・・・エルサレムの荒廢の終るま・・・七十年であることを、文書によって悟った。
Dan 9 : 17 それゆえ、あれあれの神よ、しもべの祈と願いを聞いてください。主よ、あなたご自身のために、あの荒れたあなたの聖所に、あなたのみ顔を輝かせてください。：18 あが神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、あれあれの荒れたさまを見、み名をもってなえられる町をざんぐってください。あれあれがあなたの前に祈をささげるのは、あれあれの義によるのではなく、ただあなたの大いなるあわれみによるのです。：19 主よ、聞いてください。主よ、ゆるしてください。主よ、み心に留めて、おこなってください。あが神よ、あなたが自身のために、これを延ばさないでください。あなたの町と、あなたの民は、み名をもってなえられているからです。』

回聖所が荒らされる、七倍の復讐
Lev 26 : 27 それでもなお、あなたがたがあたしに聞き従わず、あたしに逆らって歩むならば、：28 あたしもあなたがたに逆らい、怒りをもって歩み、あなたがたの罪を七倍重く罰するであろう。・・・：31 あたしはまたあなたがたの町々を荒れ地とし、あなたがたの聖所を荒らすであろう。・・・：33 あなたがたを国々の間に散らし、つるぎを抜いて、あなたがたの地を荒れ果て、あなたがたの地の初めから流されてきたすべての預言者の血について、この時代がその責任を問われる。
Rev 18 : 24 また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである。』

回イスラエルの牧者、牧場
Ezk 34 : 2 「人の子よ、イスラエルの牧者たちに向かって預言せよ。：5 彼らは牧者がいないために散り、野のもろもろの獣のえじきになる。：8 ・・・あが羊はかすめられ、あが羊は野のもろもろの獣のえじきとなっているが、その牧者はいない。あが牧者はあが羊を尋ねない。牧者は自身を養うが、あが羊を養わない。・・・：23 あたしは彼の上にひとりこの牧者を立てる。すなわちあがしもべダビデである。彼は彼らを養う。彼は彼らを養い、彼らの牧者となる。

回聖徒の流された血
Lke 11 : 50 それで、アベルの血から祭壇と神殿との間で殺されたガカリヤの血に至るまで、世の初めから流されてきたすべての預言者の血について、この時代がその責任を問われる。
Rev 18 : 24 また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである。』